

第6回愛南町海業推進会議 議事概要

開催日時 : 令和6年6月26日(水曜日)9時30分から12時00分

開催場所 : 愛南町役場本庁3階大会議室

参加者 : 清水町長、海業推進会議委員(20名)

事務局(愛媛県3名、一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所4名、愛南町)

議事概要 :

会議冒頭、清水町長から開会挨拶。以下、流れに沿って記載。

【前半】前回会合以降の動き、海業推進の方向性、海業推進に向けた支援について

まず、今年度より海業推進委員に就任した稲田委員及び古川委員に自己紹介をいただいた。続けて一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所(漁村総研)の紹介が行われた。その後、海業推進室の浜辺室長から第5回海業推進会議以降の動きや海業推進の方向性について、漁村総研から愛南町の海業の推進に向けた支援について、資料に沿って説明が行われた。

<第5回海業推進会議(3/13)以降の動き>

3月23日にランドデザインを公表した後の報道状況、制作されたランドデザインの動画の視聴、第5回会合以降の国の動き、町政・ぎょしょく20周年記念事業、海業への補助金について説明が行われた。

<海業推進の方向性について>

今年度は、ランドデザインに盛り込んだプロジェクトを具体的な行動に移し、各プロジェクトを深化させることで海業を「実装」することがテーマであることが説明された。その際の方向性として、「改正後の漁協漁場整備法に基づく規制緩和を利用して新しい取り組みを始めること」、「「広義の海業」として水産業に根差したまちづくりと一体的に実施すること」が提示され、それぞれの概要について説明が行われた。

<愛南町の海業の推進に向けた支援について>

漁村総研の伊藤氏から愛南町の海業の支援として海業実装推進業務を行う旨の説明が行われた。次に、漁村総研の竹山氏から愛南町の海業実装推進業務として愛南町海業のランドデザインの実効性を高めること、漁港施設等活用推進計画の策定を支援することについて説明が行われた。最後に、海業に関わる中間支援組織として参考となる4つの地域の事例が紹介された。

(休憩、10時55分より再開)

【後半】愛南町海業グランドデザインの進捗、視察について

グランドデザインの各プロジェクトの進捗状況及び、視察について資料に沿って説明が行われた。

<愛南町海業グランドデザインの進捗について>

愛南町地域おこし協力隊の柳田隊員から「愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト」について、海業推進室の清水係長から「愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト」について、高橋委員から「インバウンド！AINAN ツアー生成プロジェクト」について、高橋委員及び柳田隊員から「愛南海業コンシェルジュ“UMIDAS 愛南”」についてそれぞれの進捗状況や目標とする姿、目標とする指標、ターゲット、課題、協力してもらいたいことについて説明が行われた。

<視察について>

浜辺室長から、愛南町で実施しようとするプロジェクトの実行可能性を高め、より先進性の高い海業を実現することを目的に、漁村総研が発表した先行事例のいずれかへ視察に行く案が示された。また、視察のポイントや時期、最少励行人数について説明が行われた。

【その他、連絡事項】

事務局から、再来週を目途に運営委員会を開催すること、次回の海業推進会議を9月後半に開催すること、事後アンケートの提出を可能な限り本日中をお願いする旨が説明された。

以上